

報道関係者 各位

## 《 新ソリューション 》

Azureでインターネット分離環境を手軽にスタートできるソリューション

# 「Browser as a Service on Azure」

株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター(本社:神戸市 代表取締役 池 恵二 以下NDC)は、マイクロソフト社のクラウドサービスである「Azure」を利用したインターネット分離環境を手軽にスタートできるソリューション「**Browser as a Service on Azure**」を2017年7月より提供致します。

### <背景>

近年、急激に拡大する標的型攻撃から個人情報の漏洩を防ぐ対策方法として、総務省・IPA(独立行政法人情報処理推進機構)・NISC(内閣サイバーセキュリティセンター)は、重要情報を取り扱う業務パソコンをインターネットから分離するように求めています。しかしながら、インターネット分離環境を準備する為には、専用のサーバーを購入して、ソフトウェアをインストールして環境を構築するなど、ハードウェア購入費用や構築工数が多く必要となり、中小の企業や団体、医療機関、及び教育機関がインターネット分離をすぐに始めるには、難しい状況もあり一部の企業や団体を除きインターネット分離が進んでいない状況があります。

### <本ソリューションの主な特長>

1. 仮想ブラウザを利用したインターネット分離環境は、マイクロソフト社のクラウドサービスであるAzure上に用意する為にハードウェアの準備が不要です。
2. Azure上のインターネット分離環境は、当社NDCが「テンプレート」として準備していますので、1日の準備期間(構築だけなら1時間程度)で利用を開始する事ができます。
3. SOHOや中小企業など、Active Directory がない環境でも仮想ブラウザを利用する事ができます。
4. 仮想ブラウザのサービスに必要なソフトウェア製品は同時接続数ライセンス体系の為にライセンス費用を抑える事ができます。
5. クラウド環境は実際に利用した分だけにしか費用が発生致しません。その為に業務時間外にサービスを停止する事で費用の低減ができるとともに業務時間外の利用を禁止する事ができます。
6. WEBセキュリティやURLフィルタリング機能など、他のクラウドサービスと連携する事でオプションのセキュリティ機能を簡単に追加する事が可能です。
7. クラウド基盤がAzureの為にオンプレと親和性も高く、運用開始後にオンプレへの移行も可能です。

### <本ソリューションの概要>

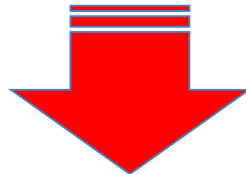
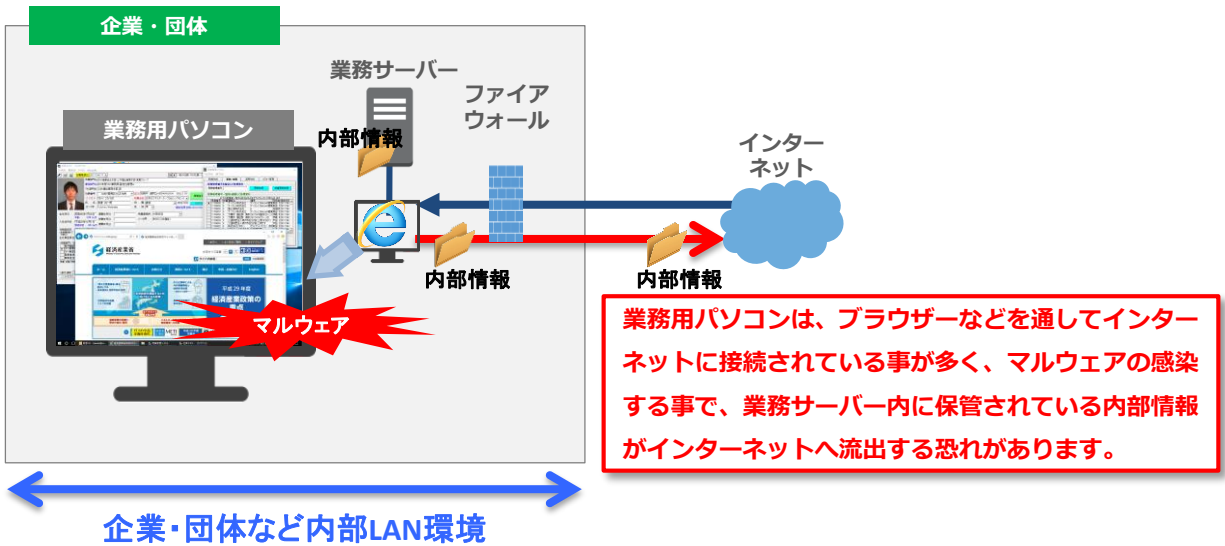
本ソリューションでは、Azure上のサーバーでブラウザを動作させて、その表示画面だけを業務パソコンに転送して表示させる仮想ブラウザ方式を採用しています。企業が契約中のAzure上に当社NDCが提供するテンプレートを展開して頂きます。そして、企業でご利用中の業務用パソコンには、米国Parallels社の「Remote Application Server クライアントエージェント」をインストールし、クライアントエージェントからAzure上のサーバーに接続して頂く事で、仮想ブラウザを使ったインターネット分離環境をご利用して頂く事が可能となります。

当社NDCが提供するAzure用テンプレートには、日本語環境に合わせたMicrosoft Windows Serverのイメージとネットワーク構成、及びそのサーバー上で動作するRemote Application Serverが予め設定されていますので1時間程度で構築ができ、1日でインターネット分離環境をご利用して頂く事が可能となっています。

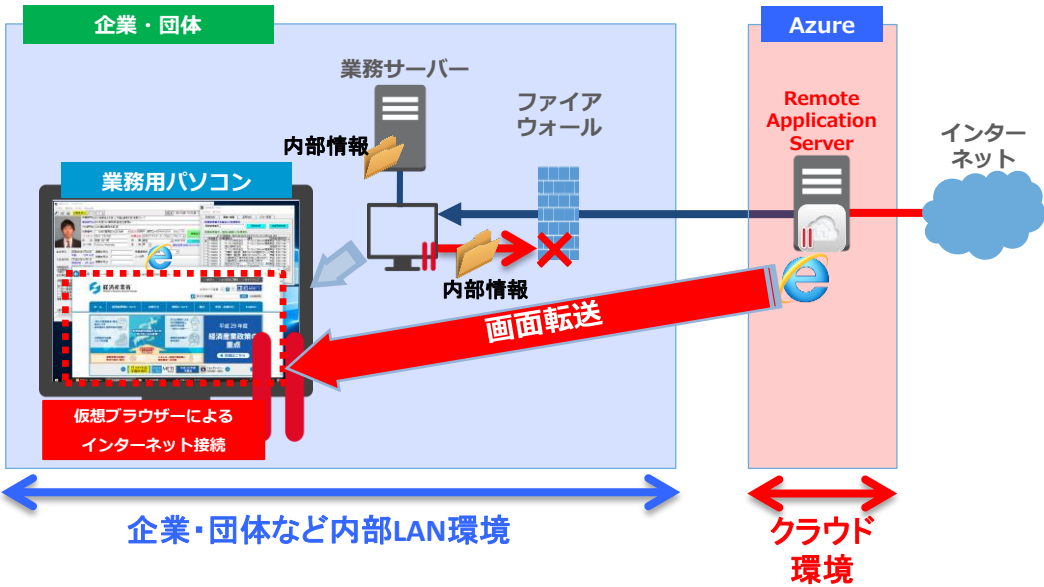
当社NDCからは、仮想ブラウザのサービスに必要な「Parallels Remote Application Server」のライセンス、Azure用のテンプレートを提供致します。また、Azureのライセンス、Remote Desktopのライセンス等必要なライセンスも併せて提供致します。

本ソリューションパンフレットのURL: [https://ssl.nihon-data.jp/Browser/Browser\\_as\\_a\\_Service.pdf](https://ssl.nihon-data.jp/Browser/Browser_as_a_Service.pdf)

これまでの一般的なインターネット接続環境



本ソリューションで提供されるインターネット接続環境



基幹系業務を行うパソコンでは、仮想ブラウザ経由でインターネット接続を実現します。業務用パソコンは、インターネットに直接接続されていない為にマルウェアの感染リスクが低減されるとともに内部情報の流出を防ぐ事が出来ます。

## <ソリューション提供参考価格>

	参考価格
Parallels Remote Application Server subscription サブスクリプションライセンス(同時利用ユーザ1人あたり) 初回最小購買ライセンス数:15 ソフトウェア保守が含まれます。	12,000円/年 (1ユーザー)
Microsoft Azure ライセンス Azure で利用するリソース量に応じた費用が必要となります。 利用量に応じた必要ライセンス数をプリペイドで購入することができます。	12ヶ月有効な 10,200円単位 のプリペイド
当社NDC提供のAzure用テンプレート 2017年12月末までに、当社からParallels Remote Application Server subscriptionライセンス、 Azureライセンスをご購入頂いた場合には無償提供。	

※RDSアプリケーション配信の際は別途マイクロソフト社RDライセンス等が必要です。

(参考) 利用対象者ユーザー30名で同時接続ユーザー数15名の場合に、Azure利用料を含めて1ユーザー1ヶ月あたり約1,400円~になります。

## <今後の展開>

Azure用のテンプレートにつきましては、まずは同時接続ユーザー数が30名程度の最小構成のものから提供となり、順次複数のテンプレートを提供させて頂く予定です。それぞれの企業や団体にあったテンプレートを選択してAzure上に展開して頂く事になります。

また、本プレスリリースで発表させて頂きました「**Browser as a Service on Azure**」と同様にマイクロソフト社のクラウドサービスであるAzure上で利用可能となる在宅勤務や外出先からテレワークを可能とするテレワーク・ソリューションや企業や団体内の重要な情報を暗号化する暗号化ソリューションなども順次提供を予定しております。

## ■会社概要■

商号 : 株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター (略称:日本データー)  
 代表者 : 代表取締役 池 恵二 設立:1968年2月 資本金:3,000万円 従業員数:約2,200名  
 本社所在地 : 〒650-0032 神戸市中央区伊藤町119番地 三井生命神戸三宮ビル  
 東京支社 : 〒163-1305 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー5階  
 事業拠点 : 大阪支店、姫路支店、名古屋営業所  
 事業内容 : 《ITソリューション事業》 システム設計・開発、IT基盤構築、スマートフォンアプリ開発、  
 システム運用設計・構築・オペレーション、AI・ロボティクス推進  
 《医療関連事業》 医療事務サービス業務、医療経営コンサルティング、診療報酬請求業務、  
 クラーク業務、診療情報管理業務、各種窓口業務、社外向け教育業務  
 《公共福祉事業》 要介護認定事務業務、障害認定事務業務、各種自治体福祉事務、  
 自治体窓口業務全般、自治体業務コンサルティング  
 ホームページ : <http://www.nihon-data.jp>

## ■本件に関するお問い合わせ先■

企業名 : 株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター (略称:日本データー)  
 担当者 : システム統合本部 プロダクトマーケティング部 武田  
 E-MAIL : [sys-sales@nihon-data.jp](mailto:sys-sales@nihon-data.jp)  
 PHONE : 神戸本社 078-332-0871(代表)  
 URL : <http://www.nihon-data.jp>

※社名、製品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。